

■妻木頼黄 建築官僚。中央官衙建設に実務能力発揮し、官庁営繕組織の頂点につくも、辰野金吾と対峙して、挫折。

つまきよりなか

安政の大獄・1859＝ 江戸赤坂で、勝海舟グループだった旗本の長男に生まれる。

桜田門外変・1860＝ 1歳：

生麦事件・・1862＝ 3歳：長崎に赴任した父が流行のコレラに罹って急逝し、家督相続。

財産も尽きて、母が裁縫の仕事始めるも、赤貧状態が続く。

明治維新・・1868＝ 9歳：

学問のすすめ1872＝13歳：母が過労で死去。

明治6年政変 1873＝14歳：嫁いでいた姉まで死去し、天涯孤独となる。

佐賀の乱・・1874＝15歳：東京外国語学校に入り、英語を学ぶ。

三つの内乱・1876＝17歳： 続いて、工部省電信寮に学ぶも興味が持てず、

西南戦争・・1877＝18歳： 渡米。船上で知合った大蔵官僚佐藤百太郎の世話になるうち、父と旧知の仲だったニューヨーク副領事富田鉄之助と運命的の出会いし、派遣されていた内務官僚神鞭知常と懇意になるが、両者とも帰国したため、

意を決して帰国し、友人の長女と同棲、

大久保暗殺・1878＝19歳： 工部大学校に入学するとともに、正式に結婚。

沖縄県編入・1879＝20歳： この年、1期生の辰野金吾が首席で卒業。

明治14年政変1881＝22歳： 成績優秀で、試験の賞品獲得の常連となるが、アメリカ帰りの先輩小島憲之の感化を受け、

新体詩抄・・1882＝23歳： 中退して再渡米し、ニューヨーク州のコーネル大学3年に編入学。

秩父事件・・1884＝25歳： 小島に続く二人目の日本人の上、卒論で名誉賞を受けて卒業し、現地の設計事務所見習となる。

次いで、ヨーロッパに渡り、諸国の歴史的建造物をつぶさに見て回った後、

帰国。東京府技師長原口要に知られ、府の技術官僚となり、知事渡辺洪基の紹介で辰野と知合う。

帝国大学始・1886＝27歳： *早くも、辰野と並ぶ高額所得者になる。井上馨主導で首都整備のため、内閣に臨時建築局が設置され、招かれたベックマンの意見で派遣されることになった職人団に従い、後にもとも一流となる2人の技師と、ドイツに渡航し、ベックマンの事務所に入り、夜間は工科大学に通う。この間、本店新築が決定され日銀の総裁は富田鉄之助だったが、日本不在では如何とも成らず、設計は辰野に決定。

初の対等条約1888＝29歳： 条約交渉中断の余波で召還帰国となるが、井上馨とベックマンが失脚し、ドイツ派は一掃される。

帝国憲法発布1889＝30歳：

大本教・・・1892＝32歳： この年、日銀本店着工。

日清戦争始・1894＝35歳： *処女作「東京府庁舎」完成。日清戦争で大本営が置かれた広島に、命じられてわずか20日で仮議院を建設。

日清戦争終・1895＝36歳：

白馬会・・・1896＝37歳： この年、日銀本店完成。

八幡製鉄始・1897＝38歳： 大蔵省監督で富田鉄之助も設立メンバーで発足した日本勧業銀行の設計を任される一方、内務省に設置された議院建築計画調査会から、辰野とともに設計案提出を求められる。

子規句歌革新1898＝39歳： ニューヨーク以来親交の相馬永胤が頭取の横浜正金銀行本店設計を、辰野を抑えて受ける。

Bushidou・・1899＝40歳： 「東京商業会議所」「横浜火災運送保険会社本店」。*大蔵技師兼内務技師。武田五一を起用し、西洋式一色の大建築のなかに、日本様式の「日本勧業銀行本店」を出現させ、衝撃を与える。

田中正造直訴1901＝42歳： 議院建築視察のため欧米へ出発するも、軍備増強で国家財政逼迫し計画は中止となる。

日露戦争始・1904＝45歳： 堂々たる石造とともに最先端技術をふんだんに採用した「横浜正金銀行」を完成させ、再び衝撃。

日露戦争終・1905＝46歳：

この間、ビールに魅せられ、「大阪麦酒吹田工場」「日本麦酒醸造目黒工場」「丸三麦酒半田工場」など、次々引き受ける一方、議院建築実現に向けて、武田に続く大熊喜邦らデザイン力に優れる若手を次々集め、

韓国反日暴動1907＝48歳： 再び、議院建築計画を始動させ、

アヲキ' 創刊・ 1908＝49歳： 辰野派からの激烈な巻き返しに会うも、

韓国併合・・1910＝51歳： この年、長男が夭折し衝撃。新議院の設計図を完成させるが、経費莫大と結局中止。妥協策で辰野派も入れた準備委員会が設置され、会議での辰野の失言で圧勝するも、世間から強い反発を受ける。

大逆事件判決1911＝52歳： 「日本橋」をはじめ、作品完成件数がピークとなるが、準備委員会は廃止に。

明治天皇没・1912＝53歳： *「日本赤十字社本館」が完成するも、肺炎で病臥し、

大正政変・・1913＝54歳： 大蔵省を退官。直後に、妻木グループ解体の人事異動。

21ヶ条要求・1915＝56歳： 持病の神経痛悪化で転地療養や入退院。

民本主義・・1916＝57歳： 富田鉄之助が死去すると、後を追うように没した。